

## 第4回 函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会 議事録

○開催日時：令和4年11月18日（金）18：00～18：30

○開催場所：函館市役所8階大会議室

○出席委員：奥平委員長，菊池副委員長，上野山委員，酒本委員，中村（馨）委員，  
中村（和）委員，丸藤委員（計7名）

○欠席委員：石郷岡委員

○傍聴：なし

○事務局：佐藤市民部長，鹿磯次長，兵吾市民・男女共同参画課長，  
小林主査，奥ヶ谷主査

.....

### 次 第

1 開 会

2 議 事

（1）前回発言要旨の確認について

（2）持続可能な町会運営に関する検討委員会とりまとめ（たたき台）について

3 その他

4 閉 会

## 1 開会

(事務局 奥ヶ谷主査)

定刻となったので、第4回函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会を開催する。この会議は、原則公開で行っている。また、本日の会議は、19時30分までには終了を予定しているので、議事の進行に協力をお願いします。

本日の会議の出席数は、委員8名中7名の出席により、函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会設置要綱第6条の規定により本委員会が成立していることを報告する。

ここからの進行は、奥平委員長をお願いします。

## 2 議 事

(1) 前回発言要旨の確認について

(奥平委員長)

みなさんこんばんは。今日の会議は、とりまとめ案が出てきたので、主に、これについて議論していただくことになる。

それでは、議事の(1)に移らせていただく。前回の発言要旨の確認について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)

－参考資料1に基づき説明－

(奥平委員長)

ただいまの説明について、何か質問等はあるか。よろしいか。それでは次の議事に進ませていただく。

(2) 持続可能な町会運営に関する検討委員会とりまとめ(たたき台)について

(奥平委員長)

ここでは、これまで計3回の検討委員会では出された皆さんの意見について、事務局に取りまとめをお願いします、たたき台を作成していただいた。

本日は、このたたき台について、委員の皆さんから意見をいただきたいと思う。

また、本日いただいた意見は、再度、事務局に取りまとめをお願いします、次回会議で、案としてお示しし、皆さんから改めて意見をいただき、最終的に、取りまとめたものを検討委員会から市に報告したいと考えているがよろしいか。

それでは、取りまとめをお願いした事務局から資料の説明をお願いします。

(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)

－資料1に基づき説明－

(奥平委員長)

今日の議題の大半は、この部分についてだが、皆さんからご意見をお伺いしていただけたらと思う。何かあれば、どなたかから口火を切っていただいて、そこからどんどん進んでいけばいいかなと思うが、いかがか。

**(菊池副委員長)**

内容を読ませていただいたが、例えば、5ページの「3 求められる町会連合会や市の取組」の一番下の行に、「ICT化を推進しやすい環境づくりを集中的に支援する必要がある」という記載があったり、6ページの最後の段落の3行目の「このような町会を後押しするような支援策があれば」というような記載があるけれど、この記載だと、具体的に市が何か支援しますよという前提で書いているように思えるのだが、将来的に支援をする予定、支援策を出す予定はあるのか。

なければ、ただ絵にかいた餅のようになってしまうので、こういう書き方でない方がいいのかなと思うし、あるならすごく素晴らしいと思うので、ぜひ進めていってほしいと思う。

**(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)**

見ていただいているものは、市がつくっているものというより、検討委員会のなかで意見を交わしてもらって、市に提出してもらったものである。

よって、支援の前提などに関わりなく、こうあるべき、こういうふうにする必要があるというところで、皆さんの意見をもとにまとめた部分だったので、そこは、捉え方が少し違うかと思う。

**(菊池副委員長)**

わたしたちの意見を取りまとめていただいて、それを市に提出するわけである。そうすると、我々の意見をこういうふうにまとめていただいているということは、つまりそういうことに繋がるというふうに捉えられてもおかしくないのではないかと私を言いたいのである。

だから、私たちの意見、この検討委員会の意見としてのまとめはあると思うのだけれど、それを公開することによって、何か私たちが支援する必要があると言ったときに、市の方でしないと言うのであれば、齟齬があるというか、誤解を招くのではないかと感じる。

**(事務局 佐藤市民部長)**

この資料は、検討委員会の委員の皆さんの意見を取りまとめたものだが、それを市が報告を受けてどうするのかという趣旨の発言だと思う。

私たちは、町会が活性化したり、持続可能なものとなるようにということで、この検討委員会を設置しており、皆さんに、町会は、どんなことをしていけばいいのか、どういう方向性に進めばいいのか、そのためには市や町会連合会は、どのような支援が必要なのかを検討していただいた。

支援策については、財政的なもの、人的なもの、体制づくり環境づくりなど、いろいろあると思うのだけれど、副委員長が気にしているように、ただ報告を受けただけということではなく、持続可能な町会に向け皆さんに検討していただいた結果として真摯に受け止め、市全体の財政面も考慮しながら、必要な支援策や方策を総合的に検討していくための、手掛かりとなるようなものだと私どもは認識している。

**(奥平委員長)**

本書については、希望的に書いておくということも大事かなと思うので、この位は、書いておいても大丈夫かなと感じる。他に何かあるか。

**(奥平委員長)**

かなり会議の内容に沿った形での取りまとめであり、皆さんの意見が反映されているという感じがするので、私は、若干、字句の訂正などはあると思うが、概ねこのような内容で良いと思う。

あと、他に何か加えたほうがいいみたいなことはあるか。次回、もう1回会議があるので、今すぐではなくても、もしあれば、事務局にメール等でお伝えいただければと思う。

**(酒本委員)**

1 ページのところの「検討の背景と趣旨」のところ、もし可能であれば、加えていただきたいことがある。

町会、町内会というのは、戦前にできて80年の歴史のなかで、組織的にかなり疲弊しており、ある程度、組織をこれから見直していく必要が、どのまちの町会、町内会、自治会もあるのではないかなと思っている。

そういったなか、ちょうど転換期にあるということを手よく表現できないかなと思う。具体的にいうと非常に難しいのだけれど、そろそろ変えていかないとまずく、企業でいうと潰れている状況なので、そういったことを少し加筆していただければいいかなというのがひとつ目である。

もうひとつは、我々、いろいろな町会、町内会を支援しており、NPOをサポートする仕事もやらせていただいているけれど、やっぱり変わってきているのは、SNSを使って新しいコミュニティがどんどんできているということである。

町会、町内会のまわりにそういった動きが非常に始まっており、そこをうまく取り込んでいかないと、町会の活性化というのは、なかなか難しいのではないかなと思う。

同じことが、だいたい書かれているので、その表現を少し加筆していただくと、さらにやるべきことが、明確になっていくのではないかなと思う。

要は、SNSなど新しい人の繋がり方でコミュニティができているということ、そういった時代になっているということ、少し前段に書いていただき、だから、ICT、SNSを積極的に町会も取り入れながら、新しい人の繋がり方を模索していくときであるというようなことを少し加えていただいた方がいいかなと思う。

あとは、本当に議論させていただいたことが、しっかり反映されているのではないかと  
思うが、あえて、そこを少し強調していただいてもいいのではないかと思う。

**(奥平委員長)**

今回の会議で時間を取ったのもその部分かと思うので、そういったところを強調して加  
えるということを事務局のほうでお願いできないかということだが、事務局いかがか。

**(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)**

今の意見を反映し、次回、お示ししたいと思う。

**(奥平委員長)**

ほかに何かあるか。

**(上野山委員)**

今さらの話かもしれないのだが、市からの交付金というのは、上限みたいなものはある  
のか。

**(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)**

交付金は、地域の世帯数、認定世帯数で算出する世帯割と、定額の組織割のセットなの  
で、世帯数が多くなれば、その分だけ増える。上限はない。

**(上野山委員)**

ずっと考えていること、思っていることがある。町会費のことなのだが、町会というも  
のがこれだけ希薄になってきてしまっているので、町会費を町会単位で集めるのではなく、  
市の税金として集めて、個々の町会に割り振るということはできないことなのか。

交付金が、1世帯当たり500円というものを、4千円、5千円とかそういうふうにする  
ことはできないのか。

**(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)**

交付金の単価を上げるというようなお話かと思うが、交付金の単価については、状況に  
併せて見直しを進めてきており、今年度、370円から500円に増額したという経緯が  
ある。

**(上野山委員)**

町会は、任意で入っているものなので、入っている人、入っていない人が出てくる。

そうすると、町会には、入らなくてもいいのではという人が増えてくるのが現実だと思  
うので、町会費を集めるのを町会単位でなくて、市の税金として集めて、世帯で割って渡  
すということとはできないものなのか。この辺は、法律も関わるのではないかと思っていた

のだが。

**(事務局 佐藤市民部長)**

税金で集める範囲というのは、一定程度、法律で決められており、自治体で独自に税として集めるとなると、当然、条例を制定することになる。

税で徴収するということは、強制加入的になるので、そうなる現在、任意団体として自主的に、そして自立的に組織されている町会の定義そのものも変わってくると思う。そうなる、現状の町会の定義を変えないで、町会費を税金で徴収するということは、現状ではできないのではないかと。

もし市民の方々のコンセンサスがあって、税でやるべきだということになったとしたら、それは、最終的に市議会に条例案を提出して可決した場合ということになるけれど、全国的にそういう自治体はないものと認識している。

一度どこかの町で似たようなことをしたのだけれど、相当な反発があり、条例可決はしたものの、その後、条例を廃止して、結果的にはそういった町会費にかわるものを税金で徴収するということはできなかったという事例を聞いたことがある。

**(上野山委員)**

交付金が出るのであれば、その金額が上がって町会費を集めなくなれば、皆さん公平かなと思う。

住んでいる人、皆のために活動しているのに、町会費を払わない人が出てくるというのもどうなのかなとずっと考えていたのだが、法律が絡んでいるのであれば難しいかなと思う。本当であれば、税みたいなもので負担するのが一番いいかなと思ったところである。

**(奥平委員長)**

それをやってしまったら、戦前の町会になってしまう。

**(事務局 佐藤市民部長)**

補足させていただくと、会費は集めなくてもいいかなどを、各町会にアンケートを取ったところ、町会費を集めないことに賛成するのは3割だけで、他の7割の方々は、会員の皆さんから町会費を徴収して、町会として自主的に自立的に町会を運営していくものだという結果であった。

市からの交付金で全部賄われるということになると、いろいろな制約がかかってくるので、地域の実情に合った運営や活動がしにくくなる可能性があり、自主的にその地域のためにどのような活動をするべきかを考えて、自らの手でそういった活動をするという方向を多くの町会が選んだ結果なのかなと受け止めている。

**(上野山委員)**

町会費が集まらなくなって、加入率がどんどん下がって、町会を運営できなくなっても

致し方ないということか。

**(事務局 佐藤市民部長)**

そうならないように、交付金の増額などで支援をしている。また、この委員会では、人手が足りないとかお金がないという状況をふまえ、しなくてもいい活動を省いていくことで、持続可能性を高めていこうという検討もされている。

あるいは、他の自治体では、小規模多機能の組織を町会の上に、屋上屋のような取組をつくっているところもあるし、酒本委員のいる札幌市では、強制ではないけれど、町内会の加入促進の条例を制定したりということで、各自治体によって、まちまちではあるが取り組んでいるという状況にある。

**(上野山委員)**

はい。わかりました。

**(奥平委員長)**

ほかに何かあるか。

**(丸藤委員)**

6ページの「新しいアイデアをもとに、新たな活動に積極的に取り組んでいる町会がありますので、このような町会を後押しするような支援策があれば」というところなのだが、ここだけ読むと、せっかくスリム化・たな卸しと言っているのに、また何か押し付けられるのか、やらなければいけないのかと、もしかしたら感じ取られるのではないかと思う。

私は、運営の変革などそういうものに積極的に取り組むとか、活性化に積極的に取り組むという部分を含めての新たな活動という意味合いで、前回発言していたところである。

よって、単純に新たな活動に積極的に取り組んでいるとか、今よりも新しいことをとということではなくて、活性化に向けて、内部変革をどういうふうに積極的に行うとか、そういった文言もプラスアルファで入れていただくと、組織変革に対しても支援をしますなど、そういうようなことを強調するというか読み取れるようにしていただければと思う。

**(奥平委員長)**

事務局、対応可能か。

**(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)**

工夫してみる。

**(奥平委員長)**

確かに、今あるものを新しくする。そういう事業にも積極的に関わっていくような表現にしたほうがいいのかと思う。

(丸藤委員)

新規事業を実施したり、付け加えて、より大きくするというだけではない。

(奥平委員長)

今あるものを整理して、すっきりさせる。そういうことも、新しい考えだということでよいか。

(丸藤委員)

はい。そういうことである。

(奥平委員長)

ほかに何かあるか。よろしいか。それでは、これで議事を終了させていただく。

次回に向けて、今日の内容をふまえて、修正されたものがつくられると思うので、よろしく願います。それでは、その他、皆さんから何かあるか。

ないようなので、事務局から連絡の方願います。

### 3 その他

(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)

連絡事項が2点ある。1点目、本日皆様からいただいたご意見については、とりまとめに反映し、次回の会議で再度、案として配布させていただきたいと思う。また、先ほど委員長からも話があったが、この後、気づいたことがあれば、今月末まで、メール等でいただければ反映しお示しできればと思っているので、よろしく願います。

最後に、次回の会議だが、12月議会終了後、12月中旬から下旬で開催させていただきたいと考えている。後日、あらためて日程調整をさせていただくので、よろしく願います。事務局からは、以上である。

(奥平委員長)

ただいまの連絡事項に対し、何かご質問等はあるか。よろしいか。それでは、これで本日の会議を終了する。事務局に進行を返す。

### 4 開会

(事務局 奥ヶ谷主査)

これをもって、第4回 函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会を終了する。